

国際交流サロン

今月から新しいシリーズ「世界の民話と昔話」を始めます。4月は「ギリシャの『北風と太陽』」です。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国 ギリシャ
民話／昔話 北風と太陽
ストーリー

ある日、北風と太陽が力くらべをすることになり、どちらが旅人の上着を脱がせることができるか、と勝負しました。

北風は上着を吹き飛ばしてしまおうと力いっぱい吹きました。しかし、旅人が上着をしっかりと押さえていたので、服を脱がすことができませんでした。

次は太陽がさんさんと旅人に照りつけました。あまりの暑さに旅人は自分から上着を脱いでしまいました。勝負は太陽の勝ちでした。

話が伝わった経緯

元はギリシャ神話の「太陽神アポロンと北風の神ポレアスの話」がヨーロッパでイソップ寓話として民衆の教訓集となり、江戸時代初期に「伊曾保物語」として日本にも伝わりました。

【問合せ】一般社団法人 笠間市国際交流協会
Tel.090-2761-8711 (木村 美枝子)

5月の国際交流情報

国際交流ハイキング

日時：5月23日(土)
午前11時30分から午後4時
集合場所：笠間稲荷神社 絵馬殿前
コース：笠間稲荷神社⇒三瓶神社(昼食は弁当持参か周辺飲食店で各自)⇒笠間稲荷神社
申込締切：5月16日(土)

笠間稲荷神社から三瓶神社(飯田)までのハイキングの参加者を募集します。片道約4kmを1時間で歩きます。外国人の方も一緒に参加できます。(雨天中止)歩きやすい服装と靴で、バッグは肩に掛けるタイプなど両手が自由に使えるものでご参加ください。



☆5月の日本語教室の開講日
5月9日(土)・16日(土)・23日(土)
(友部公民館 午前10時～)

◀ドイツ・ラー市に展示される絵を描く東小学校5年生(写真は3月現在)

市長コラム

戦後七十年

3月25日、茶道裏千家大宗匠の千玄室前家元による慰霊献茶式が筑波海軍航空隊跡地で行われました。千玄室さんは、自らも海軍航空隊に所属していたことから、二度と戦争が起きないよう願いを込め、茶道を通して平和を訴える活動をしておられます。

今年、1945年8月15日に太平洋戦争が終結してから、70年を迎える節目の年であります。先の大戦では、軍人と民間

人を含め約310万人の尊い命が失われました。本土以外で戦死した方は240万人に上り、南方の島々等には、まだまだ多くの戦死者の遺骨約113万柱が日本に帰還できずにいます。70年という長い年月が経過しても、解決されていない戦後処理の問題があります。これもその一つであると思います。

遺骨収集については、昭和27年度から政府により行われてきましたが、主に南方の激戦地で行い、その後、民間団体に現地調査を委託して情報収集に力を入れていくようです。遺族の心情や残された時間を思うと、収集作業の迅速化に向けて、急ぎ取り組むべきであると思います。

私たちは70年前を振り返り、多くの国民が何故、戦地へ向かうことになったのか、今年太平洋戦争の歴史を見つめながら、平和への誓いを持つ年としたいと思います。

笠間市長

山口伸樹



▲ 慰霊献茶式(筑波海軍航空隊跡地)